

東照宮御代

川嶋

高式拾六俵三人扶持

源姓

家紋 丸之内酸漿
内七俵五升地方
四ツ目結

人皇五拾九代宇多天皇之後胤佐々木
近江四郎高綱四男末孫川嶋八右衛門
高信近江國川嶋右在任仕候高信嫡男

保政

八右衛門

天正十年

東照宮伊賀路山越被為 遊候節鹿伏

兎山迄御向二出夫より勢州白子まで

供奉御忠節を以同年尾州鳴海二て

召出され○同十九年江府へ供奉廩

米拾六俵之内地方二て永五貫文地を

賜大坂御陣迄都合十二度所々御陣

供奉○元和四年御広敷番○寛永五

年五月七日死六拾五歳四ッ谷西念寺

葬る 地方七俵五升之儀は天正十九年 東照宮赤坂喰違二て
御鷹野之節御場先二て供奉之伊賀之者へ武州七ヶ村二て
被下し

保好

八右衛門

寛永五年七月家督奥御広敷伊

賀○同九年

台徳院殿御不豫之砌伊賀之もの八人

昼夜御次之間二伺出同年正月廿

四日 薨御之砌御尊骸御座之間二

被為在候間御番増上寺へ御葬送の

供奉落髮直二御廟御番御宝塔

功成の後御広敷御番御忌明之時

御紋付御熨斗目老御紋付御小袖老

御麻上下老具白銀拾枚賜○同十九年

二月加秩拾俵○承応二年十一月二日

死七拾三歳同寺

保勝

勘左衛門

承応二年十二月家督御広敷御番

天和三年十二月明屋敷番○元禄二

年十月致仕○同十二年十二月五日死

七拾老歳同寺

保重

伊賀之者
実 近藤七郎左衛門某次男

勘右衛門

元禄二年十月十六日家督明屋敷番

伊賀○同年十二月十八日小普請元方

役○同十五年八月五日四拾老歳死

同寺

保喬

川嶋八右衛門

勘右衛門

元禄十五年午年九月廿九日家督明屋敷

番伊賀者○享保元申年十二月廿一日

長福?御廣敷番○同十丑年七月廿七日御本丸勤

○同十三甲年四月五日日光御社参御留守居中

御天守台下御休息御庭番同七日御留守

中勤方御隠密の品々仰渡され奥の御番

小笠原三右衛門岩田平十郎差図請勤へ

き旨にて昼夜勤仕○同廿五日御廣鋪へ

帰番○同十四酉年九月廿八日二丸表御用

部屋拂役伊賀○同十六亥年八月八日二丸

右衛門督殿附御徒与頭高六十俵五人扶持○

元文四未年十一月廿八日御同所御廣敷添番

御扶持方高に結ひ百俵高○同五甲年十二月

廿七日田安小十人○同六酉年正月二日御本丸

にて拜謁御流頂戴○延享三寅年十二月

十二日取来高を以田安御蔵奉行○同四卯

年正月十二日高橋御屋敷奉行御門番同心

御同所御道具蔵番同心御掃除之者迄

支配并御普請奉行兼役○同五辰年五月

二日御賄頭○寛延三午年九月七日御賄頭

御台所頭兼役○同四未年三月朔日田安

大番○明和二酉年五月晦日死七十一歳四

谷西念寺葬る

以下略